

# らぶ

愛媛県立宇和特別支援学校（知的障がい部門） 人権・同和教育課

今年度、人権・同和教育課で行った主な取組について報告いたします。

## 【PTA人権・同和教育研修会】



9月15日（金）に人権・同和教育を主題とした授業の参観及び講演会を行いました。講演会では「いのちの写真展～僕たちはここにいる～」の演題で、ねっとWorkジョイの山本和美さんと吉田町手をつなぐ育成会の恵美須真紀さんにお話をいただきました。

お二方ともにご息が本校の卒業生であり、吉田町に障がい者とその家族のための事業所「オープンスペースきゅっち」を立ち上げられ13年になります。親同士のつながりから周りとのつながりができ居心地のいい場所になってきたことから「人とのつながりの中で生きていってほしい」という思いを強くされたそうです。実体験を通して、卒業までにつながりを作ってほしいとの願い、社会の中で生きていく大切さなどを話されました。また、「障がいのある人もない人も、写真を通して一緒に楽しみたい、つながりたい」と、2011年から「いのちの写真展」を主催されており、今回それらの写真も展示されました。

## 《保護者の方の感想》

- ・どの親も、我が子の将来を思う気持ちは一緒だと感じた。一つ一つやれることを見つけて、周囲とのつながりを広めていきたい。
- ・パワフルな先輩お母さんの話に元気をもらった。特に「幸福を追求する権利は誰にでもある。それを自分で追求できない人には、他の人が肩代わりする。」という考え方が印象に残った。親として、子どもの幸福を追求する権利を精一杯支え、担っていこうと思った。

アンケートへの御協力ありがとうございました。ほんのわずかしが御紹介できませんでしたが、いただいた貴重な御感想、御意見を基に一層研修に励み、より良い研修会にしていきたいと思えます。

## 【お話し会】

10月のお話し会では、人権・同和教育に焦点を当てて実施しました。絵本『くれよんがおれたとき』では、「わたし（さくら）」の視点で物語が描かれます。わたし（さくら）とゆうちゃんは仲良し。写生会の絵をしあげていたとき、「ちょっとだけしろかして。」と言われて、まだ使っていない新しい白いくれよんだからちょっといやだったけど、「ちょっとだけならいいよ。」と貸してあげたら、どんどん小さくなって「ぼきっ。」と折れてしまったのです。



1本のくれよんをきっかけに、わたしは今までと違う自分を見付けます。小さな心に生まれるとまどいやいじけ、いじわる…。友達といることは楽しいことばかりじゃない、けれど、自分の気持ちを伝える勇気、友達の喜びを自分の喜びと思える優しさ…。誰もが経験する普遍的なお話です。1本のくれよんをきっかけに成長するわたし（さくら）とゆうちゃんのお話をぜひ読んでみてはいかがでしょうか。

【人権ポスター・標語・習字】

平成 29 年度人権尊重の意識を高めるためのポスター

〈入選〉 「心に笑顔咲かせよう」



高等部 1 年 山下 真由

夏休み前に、人権ポスター、標語、習字の募集をしたところ、多くの作品が集まりました。友達を大切に思う優しさ、自分を見つめる真摯な姿勢など思いのあふれた作品ばかりです。御協力ありがとうございました。

紙面で紹介できなかった全作品は校内に順次掲示しています。



平成 29 年度西予市人権作品集「かがやき」 掲載作品

「標語」 中学部 2 年 野間穂乃実 「手をつなぐ 心もつながる しっかりと」

高等部 1 年 渡辺 結菜 「親切の リレーをずっと 続けよう」

高等部 3 年 梶谷 悟 「ころんでも たちあがろう！

きっと何かができるはず」

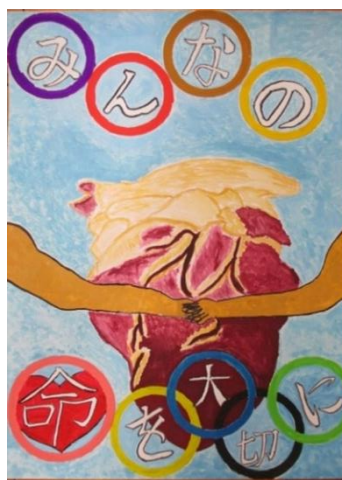
「ポスター」

「なかよく やさしく」



中学部 1 年 寺坂 美優

「みんなの 命を大切に」



高等部 1 年 水谷 恵美

「心のさけび 残さない」



高等部 2 年 土居 幸弘

「習字」



中学部 2 年 上野 拓海



高等部 2 年 寺谷 和真



高等部 2 年 菊池紗弥加